

幼児教育長期派遣通信 3学期号

発行 令和6年3月27日

熊野町立熊野第三小学校 河久 千景（派遣園：社会福祉法人光生会保育所ひかり学園）

1 3学期の研修内容

- (1) 園内研修→園児観察・園内環境整備・派遣園行事（御餅つき、生活発表会、お茶会等）等
- (2) 園外研修→幼児教育アドバイザーによる訪問指導・長期派遣研修報告会等

2 研修を通して

子供たちのドキドキワクワクを促す 教師の働き掛けや環境構成を発見!!



子供の主体的な学びを促す要因を探るため、遊びの事例（エピソード）を積み重ねてみていくと、次の6つの共通点が見えてきました。

- ① 「自分の思いを受け止めてもらえる**保育者の支え**」
- ② 「頭・体・心全体を使って自然と触れ合う**直接体験**」
- ③ 「**自立**を促す環境構成」
- ④ 「自分なりに試行錯誤できる場や材料や道具、**時間**の確保」
- ⑤ 「発見や気づき、自分の気持ちを共有してくれる**友達の存在**」
- ⑥ 「子供を基点とした**地域とのつながり**」

～小学校へ円滑に繋いでいくための5つのキーワード～

🔍 安心感

🔍 直接体験

🔍 自立

🔍 時間

🔍 つながり

この5つのキーワードに沿って自校のスタートカリキュラムの工夫を具体的に説明します。

🔍 安心感

教師は、子供の目線になって先回りせず、児童の気持ちに寄り添った対応を心がけ長い目で見守ります。また、長椅子を、ベランダや廊下に置き、寛げる空間をつくります。朝の会ではお互いが顔を見て話すことができるよう丸くなって行い、和やかな雰囲気朝のスタートをきります。帰りの会も同様に行い、教師が撮影した写真を見ながら嬉しかったことだけでなく、困ったことや分からないことなども子供たちと話し合ったり共感したりすることで、楽しみを増やしつつ不安を軽減させ、明日への意欲に繋がる振り返りを一日の終わりに設定します。



🔍 直接体験

学習活動に自然との触れ合いを多く取り入れます。例えば、今までの「きれいにさいてね」という単位では、アサガオの栽培キットを一括購入し、子供たちと育てていました。しかし、今年は、2年生からプレゼントでもらったアサガオの種で育てることに挑戦します。入学当初にプレゼントしてもらった種は、児童にとって特別な種です。その種がどんな花を咲かせるのか期待をもつと共に、園所での育てた経験を思い出したり、自分達で育て方を調べたりと試行錯誤を繰り返し、アサガオの栽培を準備から自分たちのやり方で一つずつ試す経験をすることで、子供達は、アサガオの育つ場所や変化や成長の様子により関心をもって主体的に働きかけることができます。また、このような、土や花、水など自然との直接体験を大切にすることで子供たちの感性がより豊かになると考えます。



自立

年長児はみんなで交代しながら当番活動に取り組んでいます。この「自分たちはいろいろなことができるんだ!」という自信たっぷりの経験を生かすため、4月当初から、日直や係活動など自分たちでできる活動を仕組んでいきます。自分たちで準備・片付けができるように、絵や写真を利用し、カレンダーや時計、タイマーなど視覚的支援をしていきます。これにより、「自分で考えて自分でやる」という園所で身に付けてきた主体性を発揮できるようにします。



時間

教師は、児童の心の安定や友達同士の繋がりを深めるために、朝の支度が終わった児童から自分で遊び（カプラ、塗り絵、折り紙、工作等）を選んで自由に遊ぶことができるような時間を設定します。8時50分頃から片付けをし、みんなで歌を歌ったり、仲間づくりのできるゲームをしたり、読み聞かせを取り入れたりして朝の会から緩やかな1時間目を連続とした時間と

	第1日	第2日	第3日
日	4月9日(火)	4月10日(水)	4月11日(木)
行事	入学式		
朝		にこにこタイム にこにこの過ごし方 自由遊び 朝の会	にこにこタイム 11参照 朝の支度後自由遊び 8:50~片付け・朝の会
1		♥生 国 国語が得意な児童が みんなを教える1.5/7 自己紹介ゲーム 国語が得意な児童が みんなを教える1.5/7 ジャンケン列車	♥生 音 国語が得意な児童が みんなを教える1.5/7 うたっておどってなごくなる 0.5/5 ジャンケン列車

	生	国	生	国	生	算
3	国語が得意な児童がみんなを教える2/2 国語が得意な児童がみんなを教える0.5/2 図書室の使い方を教える本を選んで借りてみよう	国語が得意な児童がみんなを教える0.5/3 友達と話し合いに計画を立てて、学校探検へ出かける 国語が得意な児童がみんなを教える0.5/2	国語が得意な児童がみんなを教える1.5/3 もっとしりたくなった場所や人の所へ探検にでかける 算) なかまづくりとかず1.5/14 学校の中に隠れている数を見つけてみよう			
4	国語が得意な児童がみんなの名前をかいたり、本の名前をかいたりする 算) 学年開き1/1 給食の支度や牛乳パックの畳み方を教える	国語が得意な児童がみんなを教える1/3 自分がみつけたりきいたり面白かったことなど交流する 国語が得意な児童がみんなを教える1/2	国語が得意な児童がみんなを教える2/3 もっとしりたくなった場所や人の所へ探検にでかける 算) なかまづくりとかず2/14 学校の中に隠れている数を見つけてみよう			

します。
また、生活科と算数科を関連的に進めたり、生活科と国語科を合科的に進めたりしていきます。目の前の子供たちの学習進度に合わせ、1時間などで終わらない場合は2時間に変更するなど柔軟に授業の時間を変えていきます。

つながり

園所では異年齢同士で遊ぶことで互いの学びが広がったり、深まったりしていたことから、小学校でも生活科「みんなとなかよくなりたいたい」という単元を設け、同級生だけではなく、2年生や6年生などの異学年交流を行います。そのことで、色々な人と関わることのよさや楽しさが分かり、進んで触れ合い交流しようとする児童の姿を目指します。また、児童の学びを一層充実させるため、地域の方々に七夕の竹や昔遊び等の協力をお願いする等、豊かな体験が児童に提供できるように地域や家庭との連携を図ります。



3 まとめ

子供たちの主体的な学びを促すスタートカリキュラムを目指し、研修での学びを手掛かりに工夫点を考えてまいりました。いよいよ4月から実践が始まります。まずは、目の前の子供たちの姿を丁寧に見取り、時には作成したスタートカリキュラムを柔軟に変更しながら、子供たちと楽しく過ごしていきたいと思ひます。そして、これからも、子供たちにより適したスタートカリキュラムに近づけるよう日々授業改善していきたく思ひます。

〈乳幼児教育支援センターより〉
小学校入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくるのが求められています。子供たちが進んで自分らしさを表出し、自分のもっている力が発揮できるように、教師は、「今」の子供の姿を丁寧に見取り、人・もの・ことの世界を整えることが大切です。